

動物病院トリマーに聞く

肥満、関節がゆるい、 ひとクセあるコの

腰が悪い… トリミング

ペットの高齢化とともに、いろいろと体にトラブルを抱えたコが見られます。腰や関節にトラブルがあったり、持病があったり…。ここでは、それらを「クセ」と称して、クセのあるコたちのトリミングをおこなう際に、どのような点に気をつけながら作業を進めたらよいのかを解説します。数多くの「クセ犬」に対応している動物病院トリマーさんに聞いた「トリミングのコツ」とは？

監修：藤原真(オハナ動物病院院長)、藤原利恵(オハナ動物病院トリマー)、撮影：佐藤幸枝
モデル犬：ボルトくん(ウエスト・ハイランド・ホワイトテリア)、ALDくん(ロングヘアード・スコットのダックスフンド)、黒くん(スノー・コート・プードル)
撮影協力：オハナ動物病院(https://www.ofana-vet.com/)

こんなオプションも

体重は多くのサロンでチェックしていると思いますが、オハナ動物病院では、犬用体脂肪計を使ったオプションサービスをおこなっています。脂肪がどのくらいあるのかを数値化して見せることで、飼い主さんに犬の肥満度が伝わりやすく、また努力目標を共有しやすくなります。



犬専用の体脂肪計で計測。



比較のために記録。



飼い主さんにフィードバック。



立たせて作業したい場合には、ボディの下に手を入れて、片手で犬の体を変えてあげるといいでしょう。



ぼっちゃりしているコは関節への負担が大きいため立ってられないことが多いです。

あ〜しんど…



程度の差はあると思いますが、多く見られるのがぼっちゃり犬ですよ。

太っている犬は、立ったままの作業に耐えられずに座ってしまいがち。作業に支障がないなら、犬を座らせたままでもかまいません。立たせないと作業できない部分は後肢の間に手を入れて後肢を支えたり、場合によってはリードを体の下に入れたりして立たせて、短時間で作業をすませましょう。



座っていてもかまわない部分においては、犬が座った状態で作業を。

